

伊豆市の

令和5年度 わかりやすい決算書



総合政策部 企画財政課



20th
Anniversary

目次

1. 決算の基礎知識

- 「決算」って何？・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 決算はどうやって決まるの？・・・・・・・・・・ 3

2. 令和5年度決算について

- 令和5年度の決算は黒字？赤字？・・・・・・・・ 4
- どのような歳入があったの？・・・・・・・・ 5
- どのように使われたの？・・・・・・・・・・ 6

3. 伊豆市の財政状況について

- 伊豆市の財政は大丈夫なの？・・・・・・・・ 8

4. 主要事業の決算状況

- 主要事業の決算についての説明・・・・・・・・ 10

I. 決算の基礎知識

Q 決算って何？

A 一年間で、市にどれだけのお金が入って、どんなことにいくら使ったかをまとめたものです。

決算は議会への報告が法律で定められており、議会に提出する資料として、決算書を作成します。

決算書では、市に入ってくるお金を歳入、使ったお金のことを歳出といいます。



どうして決算を議会に報告するの？



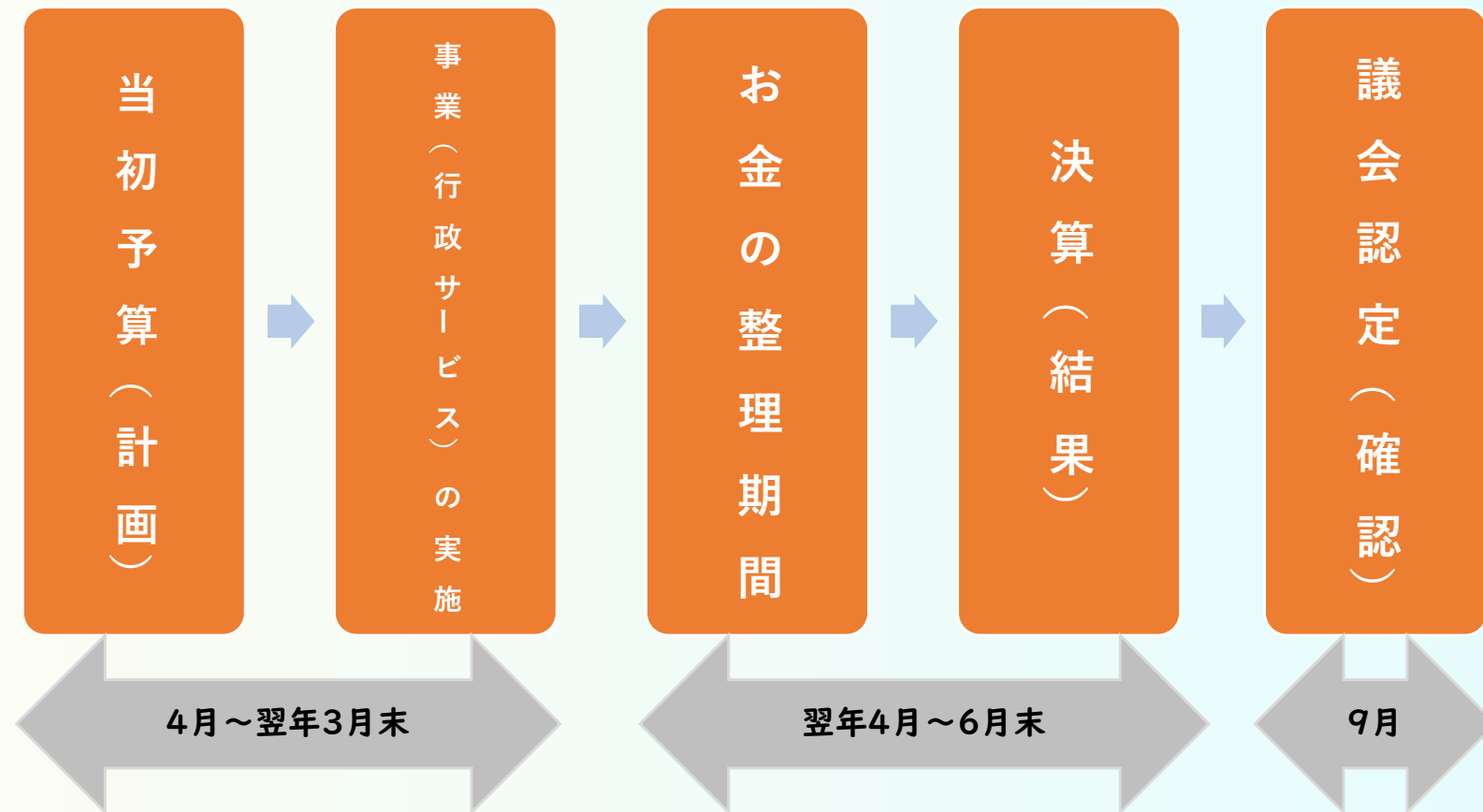
市の歳入には、市民の皆様からの税金も多く含まれています。そのため、皆様から納めていただいた税金が正しく使われているかを、市民の代表である議会にチェックしてもらうために決算報告をする必要があります。

I. 決算の基礎知識

Q 決算はどうやって決まるの？

A 新しい年度が始まると、決められた予算に基づき各課が予定している事業（行政サービス）を行います（4/1～翌年3/31）。

年度終了後、実際にどれくらいの金額が使われたかをまとめ、決算書を作成し議会へ提出し、認定をもらうことで決算が決まります。

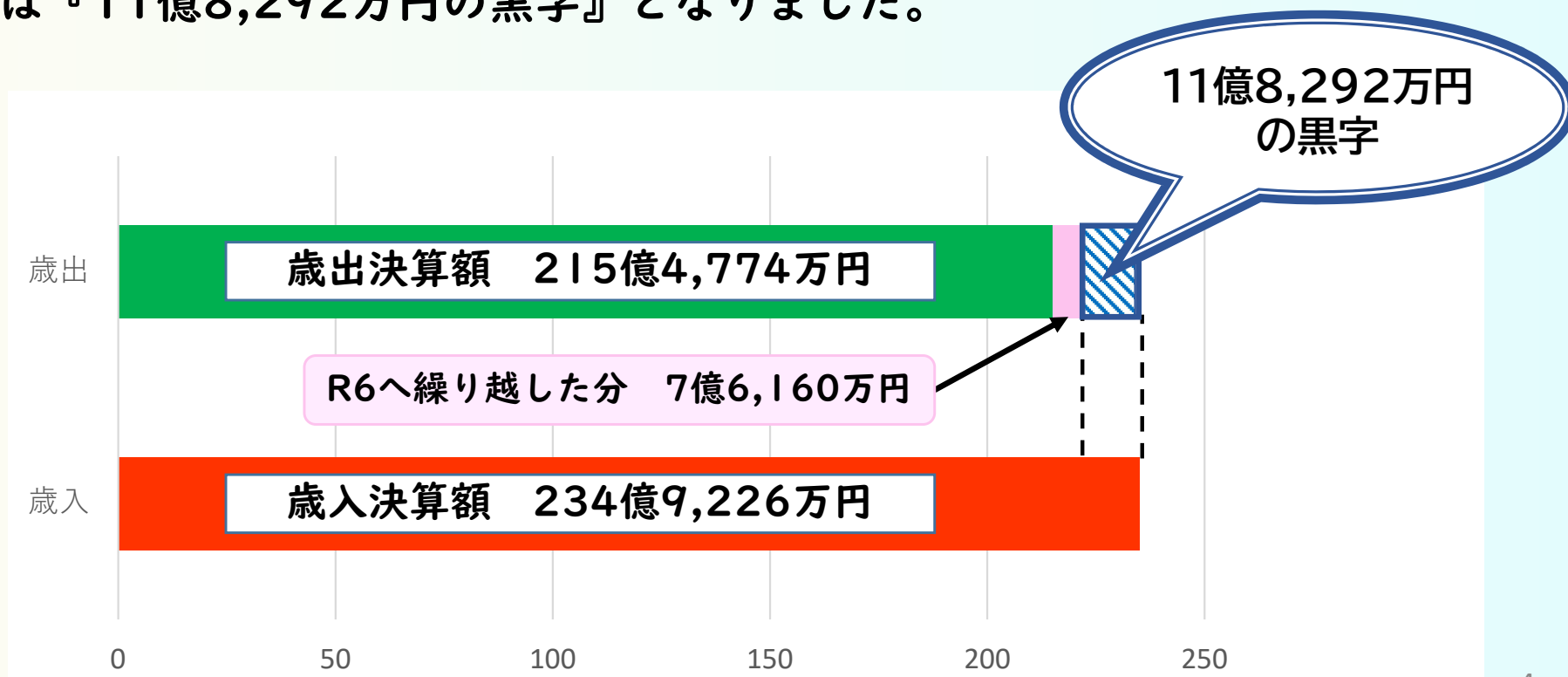


2. 令和5年度決算について

Q 令和5年度の決算は黒字？赤字？

A 令和5年度の決算額は、歳入が234億9,226万円、歳出が215億4,774万円となりました。また、歳入から歳出を引いた19億4,452万円のうち7億6,160万円は令和5年度中に完了できなかった事業のためのお金として、令和6年度に繰り越して使います。

歳入から、歳出と令和6年度に繰り越した分を引いた結果、令和5年度は『11億8,292万円の黒字』となりました。



2. 令和5年度決算について

Q どのような歳入があったの？

A 令和5年度は大きく分けて次のような歳入がありました。

項 目	説 明	令和5年度決算額	前年度比 (増減額)
自主財源	市が自主的に調達できる収入のことです。	95億3,955万円	+9億5,594万円
市税	皆さまから納めていただいた税金です。	41億7,284万円	▲234万円
寄附金	ふるさと納税などにより、伊豆市に寄附していただいたお金です。	11億8,102万円	+1億4,440万円
繰入金	市の貯金（基金）を取り崩して使うお金です。	17億3,450万円	+8億4,646万円
その他	施設の使用料や財産収入、前年度からの繰越金などです。	24億5,119万円	▲3,258万円
依存財源	国や県からの補助金や市債（借金）のことです。	139億5,271万円	▲16億5,806万円
国・県支出金	特定の事業に使うために、国や県から交付されるお金です。	41億1,812万円	+3,673万円
地方交付税	一定の行政サービスを確保するために、国から県や市町村に交付されるお金です。	61億3,745万円	+2億5,562万円
市債	事業を実施するために、国や金融機関から借り入れるお金です。	24億5,490万円	▲19億6,400万円
その他交付金等	国や県が集めた税金を各自治体へ分配する譲与税や地方消費税交付金などです。	12億4,224万円	+1,359万円
合 計		234億9,226万円	▲7億212万円

ポイント！



伊豆市は自主財源に比べて依存財源が多くなっています。自主財源が多いほど自由に使える財源が多くなるため、ふるさと納税のさらなる増加や移住定住の促進に取り組んでいます。

2. 令和5年度決算について

Q どのように使われたの？

A 令和5年度の予算は、次のとおり使われました。

目的別

議会の運営に 0.6%  議会費 1億2,874万円	市役所の運営などに 13.6%  総務費 29億1,786万円	児童・高齢者福祉などに 23.2%  民生費 50億664万円	医療やごみ処理などに 14.4%  衛生費 30億9,694万円
雇用拡大の施策などに 0.1%  労働費 1,519万円	農林業の振興などに 2.6%  農林水産業費 5億6,982万円	産業や観光の振興などに 5.1%  商工費 11億879万円	道路や公園などの整備に 9.7%  土木費 20億9,377万円
消防活動や防災などに 6.2%  消防費 13億3,419万円	学校教育などに 8.8%  教育費 18億8,787万円	借金の返済に 8.6%  公債費 18億5,072万円	貯金の積立てなどに 7.1%  15億3,721万円

2. 令和5年度決算について

性質別

項 目	説 明	令和5年度決算額	前年度比 (増減額)
義務的経費	毎年必ず支出しなければならない経費です。	71億9,512万円	+2億7,996万円
人件費	職員の給料や議員の報酬などに使う経費です。	27億7,889万円	+7,148万円
扶助費	福祉や医療などに使う経費です。	25億6,551万円	+9,135万円
公債費	市の借金を返済するための経費です。	18億5,072万円	+1億1,713万円
投資的経費	道路、建物等の公共施設の整備や災害復旧に係る経費です。	44億1,166万円	▲6億9,270万円
その他経費	物件費や補助費等のその他の経費です。	99億4,096万円	▲5億7,807万円
物件費	光熱水費や消耗品費、委託料などの経費です。	33億2,385万円	+8,599万円
維持補修費	施設の維持管理に使う経費です。	7,388万円	+450万円
補助費等	ほかの団体への補助金や負担金などの経費です。	36億5,488万円	▲7億4,555万円
積立金	各種基金（市の貯金）への積立てにかかる経費です。	15億3,633万円	+6,870万円
繰出金	特別会計の収入を補うための経費です。	13億5,202万円	+829万円
合 計		215億4,774万円	▲9億9,081万円

ポイント！



クリーンセンターいずの完成に伴う伊豆市伊豆の国市廃棄物処理施設組合への負担金の減により、補助費等が大きく減少した一方で、令和元年度に借り入れた借金の元金の返済開始により公債費が増加しています。

3. 伊豆市の財政状況について

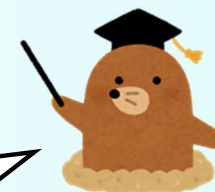
伊豆市の財政は大丈夫なの？



たくさんお金を使っているみたいだけど、
伊豆市の財政は大丈夫なの？
どうすれば分かるの？

市の財政状況は、4つの財政指標からみることができます。

それぞれの指標には基準があり、その基準と市の数値を比べることで、その市の財政が健全であるかどうかを判断します。



～4つの財政指標の説明～

「実質赤字比率」

毎年安定して得ることのできる収入に対して、普通会計（一般会計と土地取得のための会計）でどれだけ赤字があるかの割合です。

「連結実質赤字比率」

毎年安定して得ることのできる収入に対して、すべての会計でどれだけ赤字があるかの割合です。

「実質公債費比率」

毎年安定して得ることのできる収入に対して、どれくらい借金を返済しているかの割合です。

「将来負担比率」

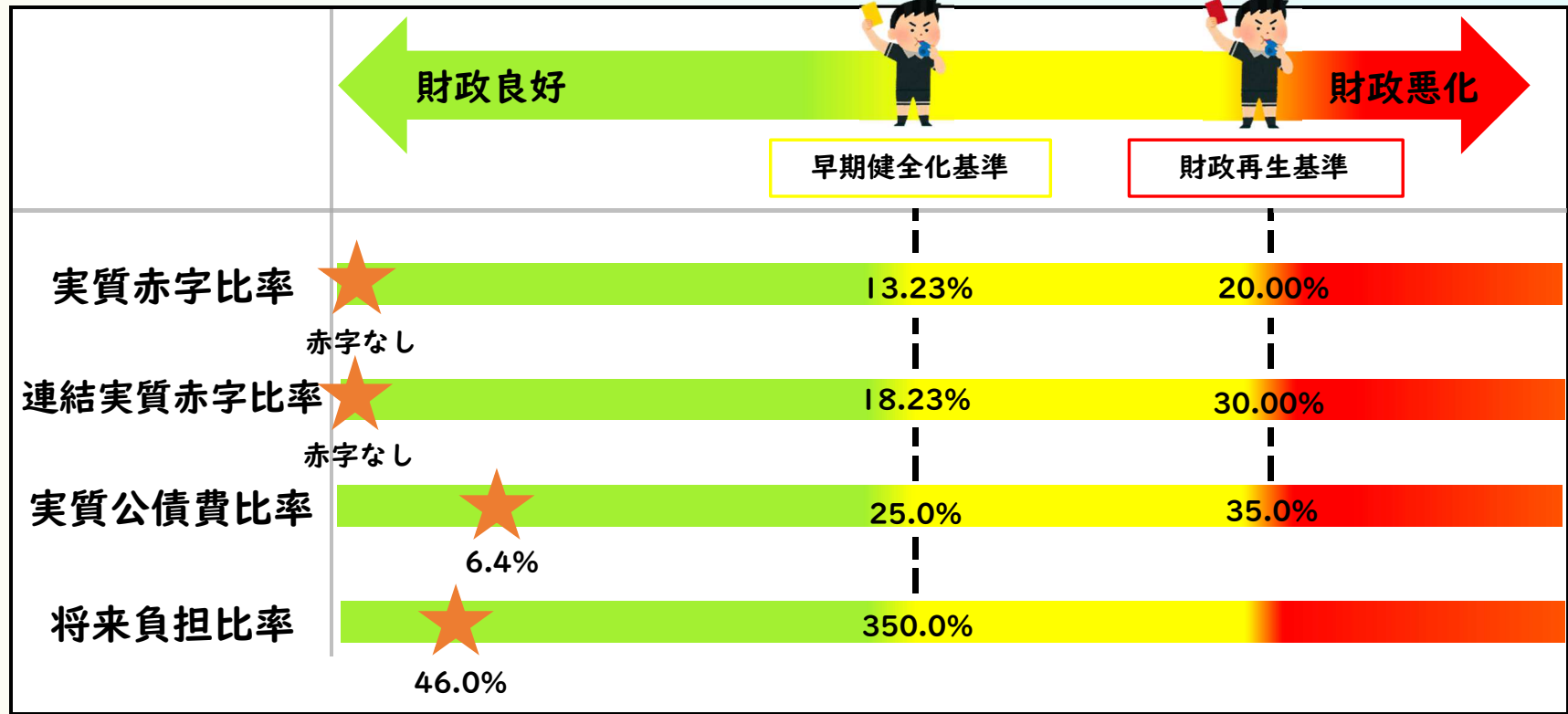
毎年安定して得ることのできる収入に対して、将来負担する債務（借金など）がどれくらいあるかの割合です。

3. 伊豆市の財政状況について



じゃあ、伊豆市の財政指標はどうなってるの？

財政指標について図にまとめました。伊豆市は、4つすべての指標で基準を大きく下回っており、健全な状態であると言えます。



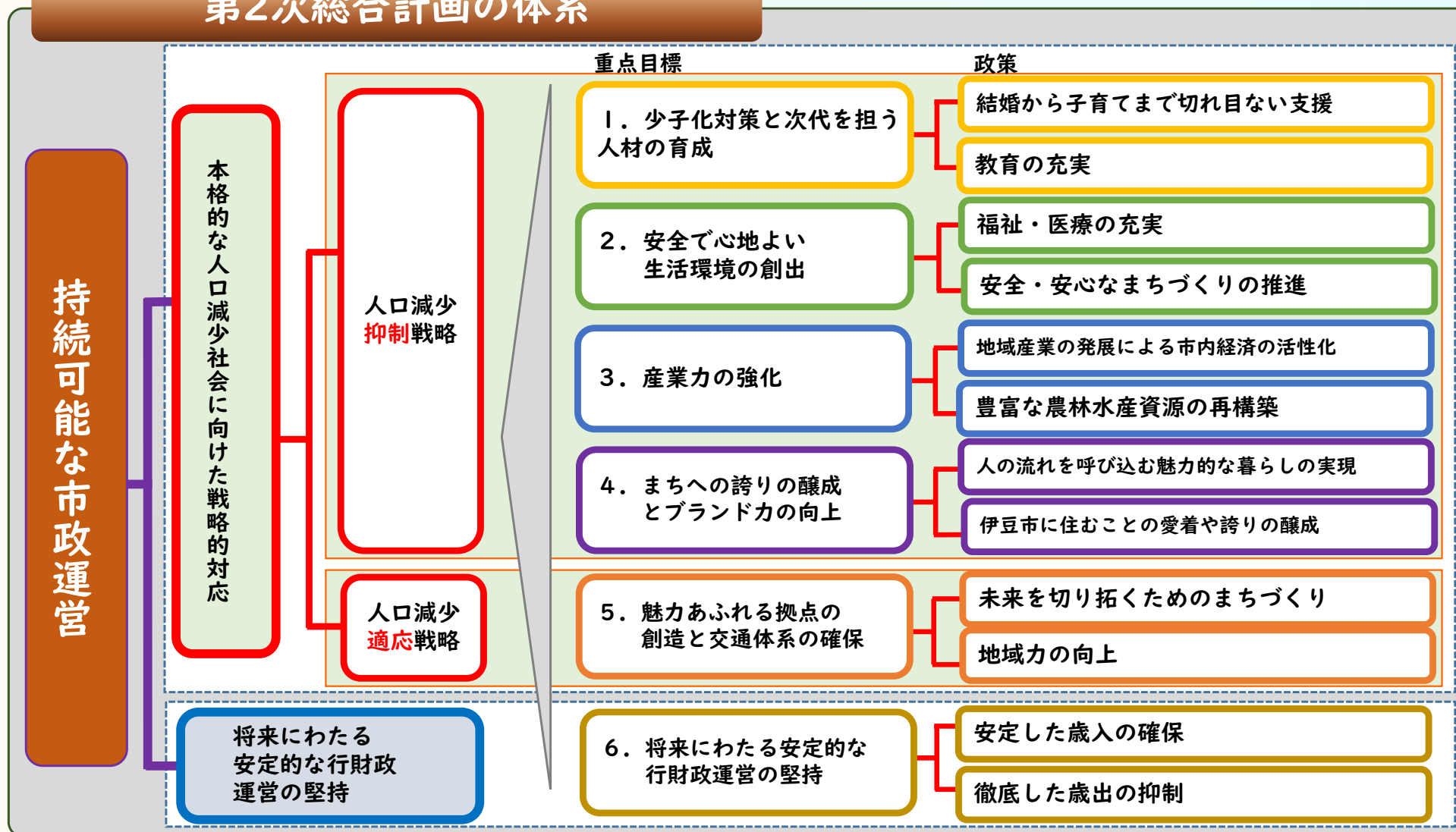
基準よりもこんなに低くなっているんだ！
これなら伊豆市の財政は大丈夫だね！



4. 主要事業の決算状況

令和5年度は、「伊豆市新時代の幕開けに向けた予算」として、少子化緊急対策に取り組むとともに、第2次伊豆市総合計画後期基本計画を着実に推進するための事業を行いました。
その中で、いくつかの主要事業について決算状況を報告します。

第2次総合計画の体系



4.主要事業の決算状況

重点目標Ⅰ

少子化対策と次代を担う人材の育成

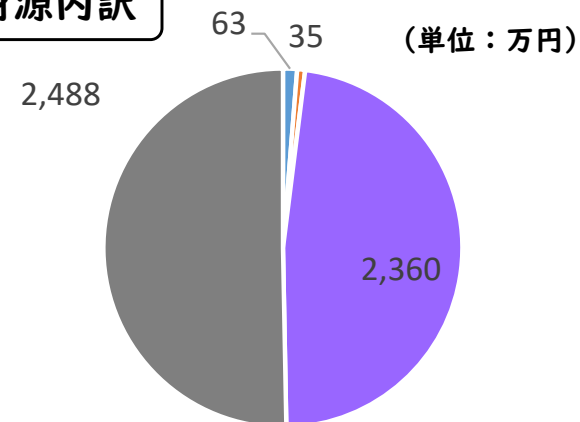
少子化緊急対策

決算額 4,946万円

令和4年度の出生見込み数が100人を大きく下回るという危機的な状況に対応するため、これまで取り組んできた、出会い・結婚から妊娠・出産、子育てまでの各ステージを通じた切れ目のない支援を大幅に強化しました。



財源内訳



- | | | |
|---------|------|---------|
| 国庫支出金 | 県支出金 | 使用料・手数料 |
| 分担金・負担金 | 繰入金 | 地方債 |
| その他 | 一般財源 | |

担当課 子育て支援課 他

4.主要事業の決算状況

重点目標Ⅰ

少子化対策と次代を担う人材の育成

新中学校整備事業

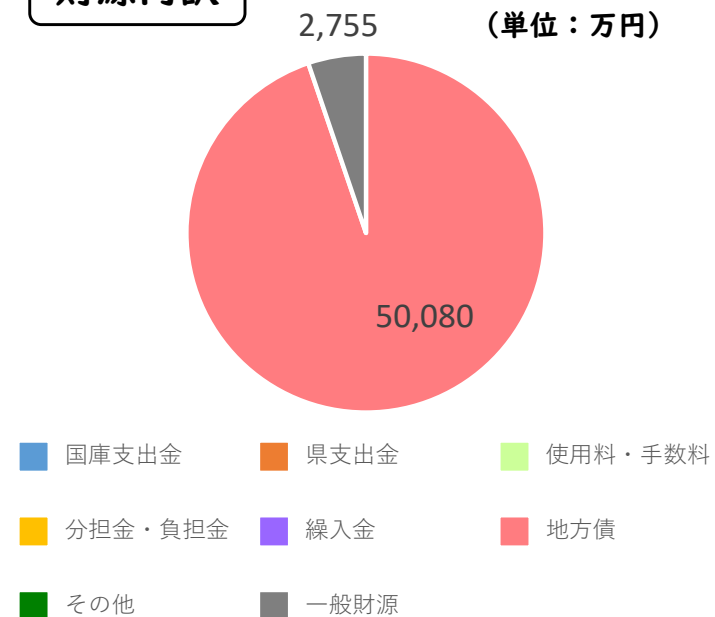
決算額 5億2,835万円

修善寺中学校・中伊豆中学校・天城中学校の3つの中学校を統合した新中学校の完成を目指し、建築工事を進めました。令和7年の開校に向けて、引き続き工事を進めていきます。



▲令和7年度開校において建設を進める新中学校

財源内訳



担当課

学校教育課

4.主要事業の決算状況

重点目標2

安全で心地よい生活環境の創出

要支援者災害時避難事業

決算額 350万円

災害時や災害が起こるおそれのある時に、在宅で生活する要支援者が安心して避難することができるよう、個別避難計画の作成を進めました。

また、被災後の生活再建等に必要な、被災者生活再建支援システムを導入しました。

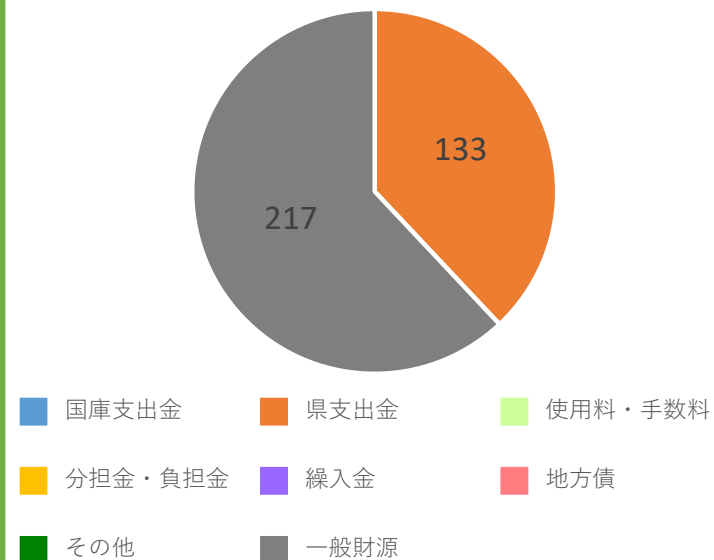
【R5実績】

個別避難計画作成件数：82件



財源内訳

(単位：万円)



担当課

社会福祉課
危機管理課

4.主要事業の決算状況

重点目標2

安全で心地よい生活環境の創出

(仮称) 日向公園整備事業

決算額 3億2,768万円

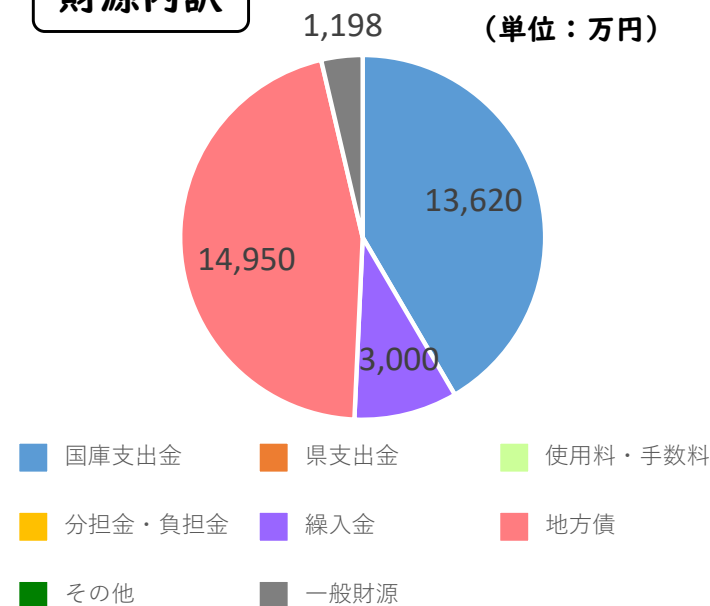
日向地区における防災機能を兼ね備えた公園の整備に係る土地の購入や、整備工事を行いました。

また、管理棟・トイレ棟の建設のための設計を行いました。



▲ (仮称) 日向公園 (完成イメージ)

財源内訳



担当課

都市計画課

4.主要事業の決算状況

重点目標2

安全で心地よい生活環境の創出

危険空き家等対策補助事業

決算額 150万円

適切な管理が行われていない市内の危険空き家等について、所有者等が除却を行う際の費用の一部を助成しました。

また、解体後の固定資産税の負担軽減のための政策減免を行いました。

【R5実績】

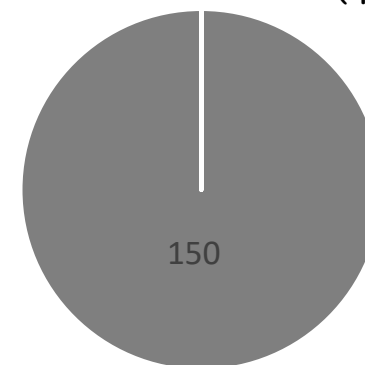
補助件数：3件

減免件数：2件



財源内訳

(単位：万円)



担当課

都市計画課
税務課

4.主要事業の決算状況

重点目標3

産業力の強化

東京2020レガシー創出事業

決算額 1,875万円

東京2020オリンピック・パラリンピック競技会場である伊豆ベロドロームの施設見学会や試乗体験会を開催しました。

また、自転車の市民への普及を目的に、自転車購入に対する補助や、ランニングバイク教室等を行いました。

【R5実績】

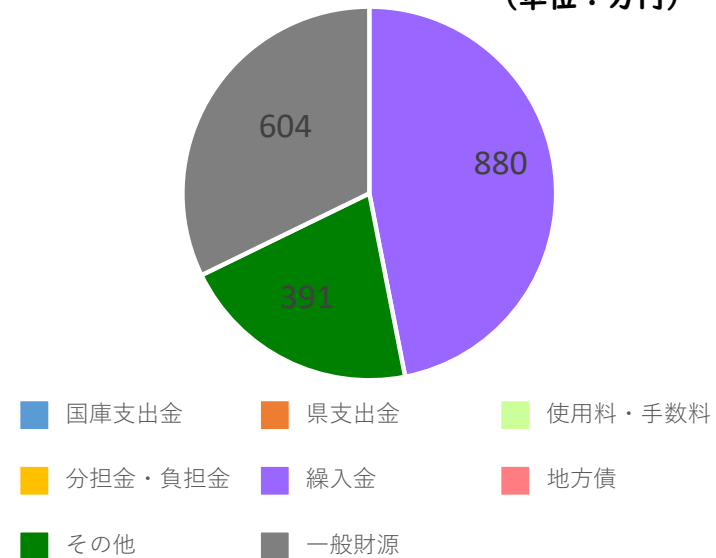
自転車購入補助件数：155件



▲オリンピックコースで開催された、「伊豆MTBコース体験」の様子

財源内訳

(単位：万円)



担当課

観光商工課

4.主要事業の決算状況

重点目標3

産業力の強化

わさびの郷構想推進事業

決算額 7,911万円

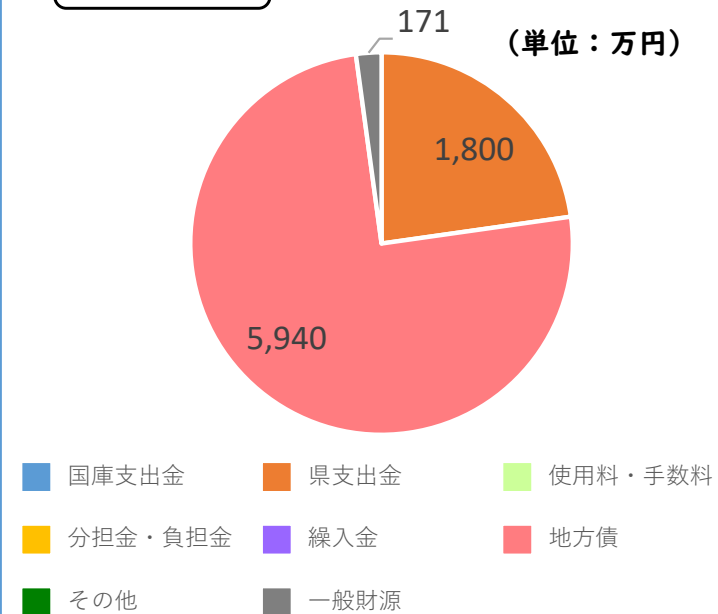
世界農業遺産に認定された、伊豆わさびに関する生産・歴史などの様々な情報発信を行う施設である、

「Izu Wasavisitor Center（伊豆わさびビジターセンター）」の整備を行いました。



▲完成した Izu Wasavisitor Center

財源内訳



担当課

農林水産課

4.主要事業の決算状況

重点目標4

まちへの誇りの醸成とブランド力の強化

地域おこし協力隊推進事業

決算額 5,086万円

地域の活性化や産業振興を図るため、地域外の人材を積極的に誘致、「地域おこし協力隊」として任命し、隊員の活動に必要な経費の支援などを行いました。

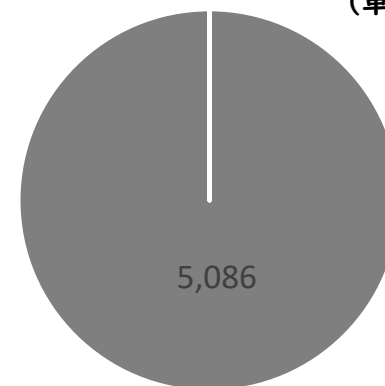
また、新たな隊員の募集を行い、令和5年度末では、11人の隊員が活動しています。



▲活動する地域おこし協力隊員

財源内訳

(単位：万円)



- | | | |
|---------|------|---------|
| 国庫支出金 | 県支出金 | 使用料・手数料 |
| 分担金・負担金 | 繰入金 | 地方債 |
| その他 | 一般財源 | |

担当課

地域づくり課・農林水産課
観光商工課

4.主要事業の決算状況

重点目標4

まちへの誇りの醸成とブランド力の強化

「Izu you Connect」事業

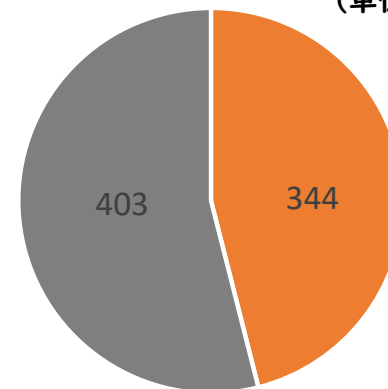
決算額 747万円

先輩移住者を「Izu you connector」として任命し、移住相談会などのイベントでの相談対応や、移住者目線での情報発信など、移住希望者のサポートを行うことで、移住定住の促進を図りました。



財源内訳

(単位：万円)



- 国庫支出金
- 県支出金
- 使用料・手数料
- 分担金・負担金
- 繰入金
- 地方債
- その他
- 一般財源

担当課

地域づくり課

4.主要事業の決算状況

重点目標 5

魅力あふれる拠点の創造と交通体系の確保

牧之郷駅周辺整備事業

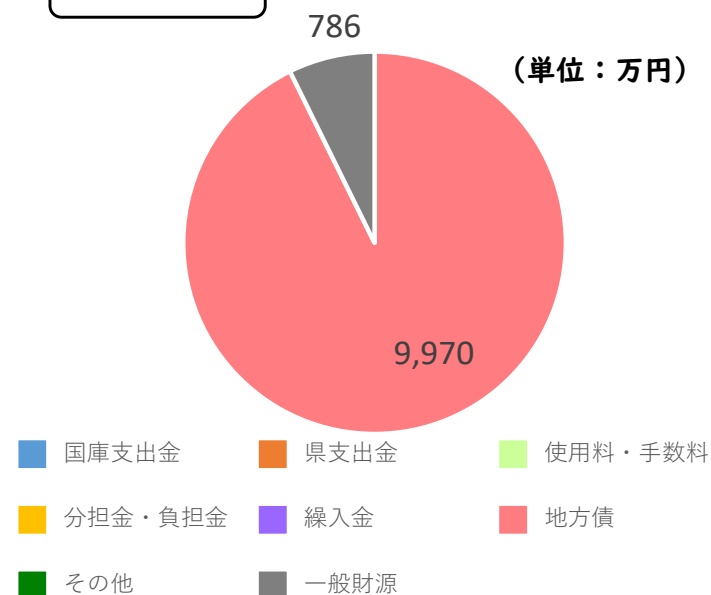
決算額 1億756万円

牧之郷駅周辺における交通広場・緑地広場・生活道路等の整備工事を進め、令和6年3月に「牧之郷駅前広場」が完成しました。



▲完成した牧之郷駅前広場

財源内訳



担当課

都市計画課

4.主要事業の決算状況

重点目標5

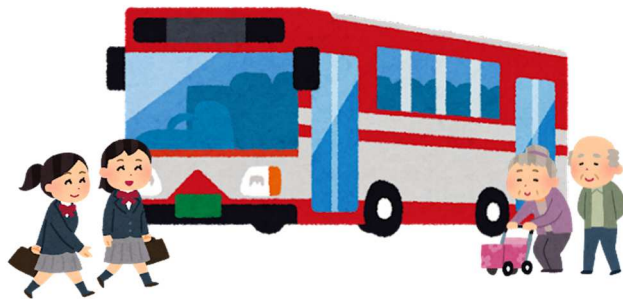
魅力あふれる拠点の創造と交通体系の確保

交通利用助成事業

決算額 7,986万円

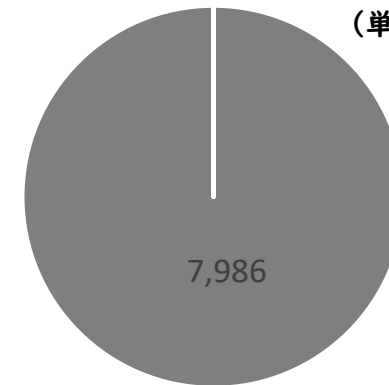
小学校・中学校・高校に通学する児童生徒の保護者の負担軽減と路線バスの利用促進のため、通学費に対する補助を行いました。

また、高齢者や障がいを持つ方の生活圏の拡大や福祉の増進を図るため、いきいきパスの購入に対する補助やタクシー・バス・鉄道の利用券の交付などを行いました。



財源内訳

(単位：万円)



担当課

地域づくり課・社会福祉課
健康長寿課・学校教育課

4.主要事業の決算状況

重点目標 6

将来にわたる安定的な行財政運営の堅持

戦略的プロモーション事業

決算額 909万円

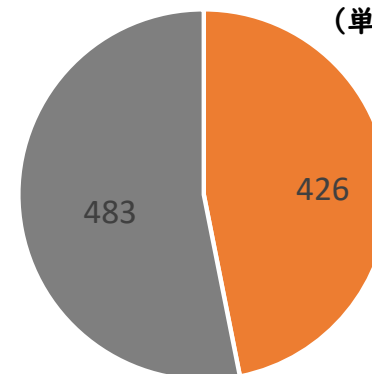
市の魅力や充実した「子育て施策」などを市内外に発信・PRすることで、移住定住の促進や地域への誇りや愛着を作り出すとともに、市のブランド力の向上を図るため、SNSを活用した情報発信や、ラッピングバスの運行などを行いました。



▲市民に配布した市制20周年記念カレンダーと『子育て全力宣言』をPRするフルラッピングバス

財源内訳

(単位：万円)



- | | | |
|---------|------|---------|
| 国庫支出金 | 県支出金 | 使用料・手数料 |
| 分担金・負担金 | 繰入金 | 地方債 |
| その他 | 一般財源 | |

担当課

企画財政課

4.主要事業の決算状況

重点目標 6

将来にわたる安定的な行財政運営の堅持

包括的アウトソーシング事業

決算額 2億3,206万円

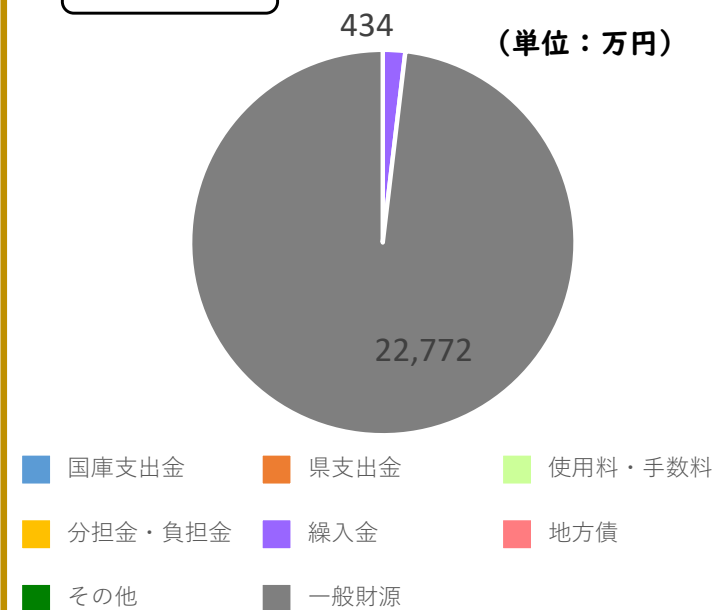
窓口業務や事務補助業務、公共施設の保守管理業務の包括的アウトソーシングを行いました。

これにより、市民の利便性向上や、職員の事務負担の軽減を図っています。

※包括的アウトソーシングとは・・・民間事業者の創意工夫やノウハウの活用により、効率的・効果的に運営できるよう、複数の業務や施設をまとめて委託をすることです。



財源内訳



担当課

総務課
資産経営課

令和 5 年度伊豆市のわかりやすい決算書

- 発行年月日 令和 6 年 1 0 月
- お問い合わせ先 伊豆市総合政策部企画財政課財政スタッフ
静岡県伊豆市小立野 3 8 番地の 2
電 話 (0 5 5 8) 7 2 - 9 8 5 9
F A X (0 5 5 8) 7 4 - 3 0 6 7